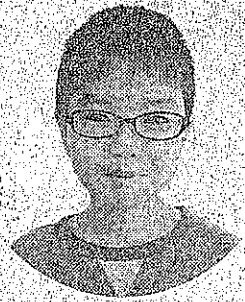


「未来へのプレゼント」

習志野市立東習志野小学校 4年 瀬楽 智輝

「答えのない道德の問題 どう解く？」

（やまざきまひろし・文 きむらよう
にまわらひら はるひと・絵 ポプラ社）



ではなくなっていると思
う。それに、今は長生き
する人がいっぱいいるか
ら、これからは大人だっ
て将来の夢や目標を持つ
ようになると思う。つま
り、この本の中のいくつ
かは「あたりまえ」に向
かって変わり始めている
と思う。

命につくってくれた、ほ
くたちへのおくり物なん
だ。そして、これから
「新しいあたりまえ」を
つくって未来にプレゼン
トをするのは、ほくたち
だから、ほくは今か
らいっぱい勉強をして、
未来へのプレゼントをつ
くり始めたいと思う。何
十年も後にこの本を読ん
だ人が「昔は国と国がケ
ンカをしていたの？」と
おどろくような、そんな
平和な世界が「あたりま
え」になるように。

ぼくのランドセルは深
い緑色。ふちや横にコケ
茶色のラインが入ってい
て、すごくカッコいい。
「一生の記念になるか
ら」と、ぼくの六才のた
ん生日の当日にお父さん
とお母さんが買ってくれ
た大切な宝物だ。

ある日、学校へ行くほ
くを見送りながらお母さ
んが「今はいろいろな色
のランドセルがあるか
ら、見ていただけで楽し
いね。昔は男の子は黒、
女の子は赤だね。お母さ
んのクラスに一人だけ水
色のランドセルの女の子

がいたけど、いつも男の
子たちからかわれてい
てかわいそうだった
な。」と言った。ぼく
は、それを聞いて本当に
おどろいた。「ランドセ
ルが水色だから」という
理由だけだからかわれる
なんて、信じられなかつ
たからだ。

ぼくは、その話を聞い
た後にこの本を読んだか
ら、「もし三十年前にこ
の本が書かれていたら、
のんが書かれていたら、
どんなことが書かれてい
ただろう。」と考えてみ
た。たとえば「色、どう
解く」というテーマが

あつたかもしれない。
「ランドセルの色。どう
して男の子は黒、女の子
は赤なの？」とか、「女
の人は青い服も着るの
に、どうして男の人はピ
ンクの服を着ないの？」
とか書かれていたかもし
れない。さらに昔のおじ
いちゃん、おばあちゃん
の時代なら「男の人は会
社で働くのに、どうして
女の人は会社に行かない
の？」とか、「お母さん
は洗たくをしたり、ご飯
を作ってくれるのに、ど
うしてお父さんはやらな
いのか？」という仕事や

家事のテーマもあつたか
もしれない。
こうやって昔の「どう
解く」を想像してみ
て、一つ気が付いたこと
がある。それは、「昔の
『どう解く』が、今の
『あたりまえ』になっ
ている」ということだ。た
しかに、この本の「たべ
もの」や「うそ」のよう
に、すごくむずかしい問
題もある。でも、最近で
は男の人、女の人同士が
結婚できるようになって
きたし、男の人が女の
人の服を着たり、お化粧
をするのもめずらしいこと
未来への期待や希望へと

【講評】 この感想文
は、現代と過去と未来を
往来するところに特徴が
ある。身近なランドセル
を話題に取り上げ、差別
を共有する経験が不可欠
である。読書感想文を書
くための新しい視点をも
たらしてくれた作品とし
て評価したい。

（戸丸 俊文）

千葉県知事賞

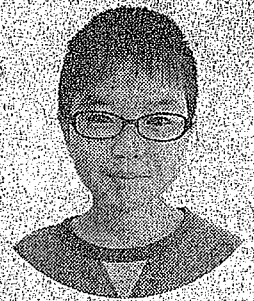
第45回千葉県課題図書小・中学校児童生
読書感想文コンクール（千葉県読書会）

「未来へのプレゼント」

習志野市立東習志野小学校 4年 瀬楽 智輝

『答えのない道德の問題 どう解く?』

(やまぎまひろし・文 まむちよう
にさわだいら はるひと・絵 ポプラ社)



ではなくなっていると思
う。それに、今は長生き
する人がいっぱいいるか
ら、これからは大人だっ
て将来の夢や目標を持つ
ようになると思う。つま
り、この本の中のいくつ
かは「あたりまえ」に向
かって変わり始めている
と思う。

今、ぼくたちが好きな
色のランドセルを選べた
り、学校へ行って勉強が
できたり、毎日平和にく
らせたりしているのは、
実は「あたりまえ」では
なく、昔の人が一生けん
命につくってくれた、ほ
くたちへのおくり物なん
だ。そして、これから
「新しいあたりまえ」を
つくって未来にプレゼン
トをするのは、ぼくたち
だから、ぼくは今か
らいっぱい勉強をして、
未来へのプレゼントをつ
くり始めたいと思う。何
十年も後にこの本を読ん
だ人が「昔は国と国がケ
ンカをしていたの?」と
おどろくような、そんな
平和な世界が「あたりま
え」になるように。

ぼくのランドセルは深
い緑色。ふちや横にコゲ
茶色のラインが入ってい
て、すくなくかっこいい。
「一生の記念になるか
ら」と、ぼくの六才のた
ん生日の当日にお父さん
とお母さんが買ってくれ
た大切な宝物だ。

家事のテーマもあったか
もしれない。
こつやって昔の「どつ
解く」を想そうしてみ
て、「つ気が付いたこと
がある。それは、「昔の
「どう解く」が、今の
「あたりまえ」になっ
ている」ということだ。た
しかに、この本の「たべ
もの」や「うそ」のよう
に、すくなくむずかしい問
題もある。でも、最近で
は男の人、女の人同士が
結婚できるようになって
きたし、男の人が女の
人の服を着たり、お化粧
をするのもめずらしいこと
がある。身近なランドセル
を話題に取り上げ、差別
を共有する経験が不可欠
である。読書感想文を書
くための新しい視点をも
たらしてくれた作品とし
て評価したい。

ある日、学校へ行くほ
くを見送りながらお母さ
んが「今はいるいるな色
のランドセルがあるか
ら、見ているだけで楽し
いね。昔は男の子は黒、
女の子は赤だね。お母さ
んのクラスに一人だけ水
色のランドセルの女の子

「あたりまえ」になっ
て、一つ気が付いたこと
がある。それは、「昔の
「どう解く」が、今の
「あたりまえ」になっ
ている」ということだ。た
しかに、この本の「たべ
もの」や「うそ」のよう
に、すくなくむずかしい問
題もある。でも、最近で
は男の人、女の人同士が
結婚できるようになって
きたし、男の人が女の
人の服を着たり、お化粧
をするのもめずらしいこと
がある。身近なランドセル
を話題に取り上げ、差別
を共有する経験が不可欠
である。読書感想文を書
くための新しい視点をも
たらしてくれた作品とし
て評価したい。

た大切な宝物だ。
ある日、学校へ行くほ
くを見送りながらお母さ
んが「今はいるいるな色
のランドセルがあるか
ら、見ているだけで楽し
いね。昔は男の子は黒、
女の子は赤だね。お母さ
んのクラスに一人だけ水
色のランドセルの女の子

【講評】 この感想文
は、現代と過去と未来を
往来するところに特徴が
ある。身近なランドセル
を話題に取り上げ、差別
を共有する経験が不可欠
である。読書感想文を書
くための新しい視点をも
たらしてくれた作品とし
て評価したい。

た大切な宝物だ。
ある日、学校へ行くほ
くを見送りながらお母さ
んが「今はいるいるな色
のランドセルがあるか
ら、見ているだけで楽し
いね。昔は男の子は黒、
女の子は赤だね。お母さ
んのクラスに一人だけ水
色のランドセルの女の子

【講評】 この感想文
は、現代と過去と未来を
往来するところに特徴が
ある。身近なランドセル
を話題に取り上げ、差別
を共有する経験が不可欠
である。読書感想文を書
くための新しい視点をも
たらしてくれた作品とし
て評価したい。

た大切な宝物だ。
ある日、学校へ行くほ
くを見送りながらお母さ
んが「今はいるいるな色
のランドセルがあるか
ら、見ているだけで楽し
いね。昔は男の子は黒、
女の子は赤だね。お母さ
んのクラスに一人だけ水
色のランドセルの女の子

【講評】 この感想文
は、現代と過去と未来を
往来するところに特徴が
ある。身近なランドセル
を話題に取り上げ、差別
を共有する経験が不可欠
である。読書感想文を書
くための新しい視点をも
たらしてくれた作品とし
て評価したい。

た大切な宝物だ。
ある日、学校へ行くほ
くを見送りながらお母さ
んが「今はいるいるな色
のランドセルがあるか
ら、見ているだけで楽し
いね。昔は男の子は黒、
女の子は赤だね。お母さ
んのクラスに一人だけ水
色のランドセルの女の子

【講評】 この感想文
は、現代と過去と未来を
往来するところに特徴が
ある。身近なランドセル
を話題に取り上げ、差別
を共有する経験が不可欠
である。読書感想文を書
くための新しい視点をも
たらしてくれた作品とし
て評価したい。

ADDITIONAL PRACTICE

第45回千葉県課題図書小・中学校児童生
読書感想文コンクール (千葉県読書会)